

(提案書 様式①)

協働の機会提案書(継続用)

2015 年 9 月 24 日

印西市長 板倉 正直 様

(登録者) 登録番号 23-004

名 称 木下まち育て塾

所在地 印西市木下

代表者 伊藤 哲之 ㊞

連絡先

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

課 題
(前年度の実施を踏
まえた課題)

印西市には木下河岸を始めとした利根川水運により隆盛をみた歴史と町家などの文化的資源が残されており、関係機関や市民ボランティアの努力により保存されており、市内外での関心は高まりを感じられているが、その価値の活用や理解を深める活動はまだ十分とは言えない状況が続いている。

また、印西市は利便性や自然環境により全国的にも住みやすい街として評価されており、住民も増加傾向が続いている。さらに印西市を魅力ある街として、長く住む市民はもちろん新しい市民や若い世代に、愛着を持ってもらうため、印西市全体の歴史やそれぞれが住む地域の歴史への理解を深めてもらう機会を増やす必要がある。

提案理由

木下河岸の間屋であった吉岡家に残された蔵を活用した「吉岡まちかど博物館」(吉岡家土蔵)は郷土史学習の拠点として市との協働事業で認知度も高まり、地元小学校との交流も始まり、市民の間にも理解が深まりつつある。さらに生涯学習の機会提供と市民活動の活性化を高めるために、新住民も多い印西市民を主な対象として、歴史的価値の認識を深めてもらいさらに住んでいる街へのふるさと意識を醸成する目的も併せ、市との協働事業として提案するものです。

提案内容
(前年度の実施を踏
まえた改善内容)

吉岡まちかど博物館あるいは地域の公共施設等を会場とし、木下河岸を始めとした利根川水運の歴史を学習する「続・寺子屋吉岡」の講座開催、さらに夏期・冬期特別公開講座として市内外にある水運に関わる施設の見学会や、公民館を会場に講演会を企画・実施し、小学生から高齢者まで、さらに転入した新住民も含め広く市民に参加を呼びかける。

貴団体の特性、協働 で実施するメリット	「木下まち育て塾」は平成 15 年に発足して以来、市民参加型のボランティア団体として、行政・大学・他の団体と連携し、木下・六軒地区に残る価値ある文化的建物・資料の調査・研究・保存に実績の多い団体である。昨今の江戸期の舟運に対する関心の高まりは、関東一円に広まりつつあり、市との協働により、ここで木下河岸及び利根川水運の歴史的意味を市民とともに再認識することで、住みよいまち印西市のふるさと意識の醸成とまちの活性化に貢献する。
継続実施により 得られる効果や 目指す将来展望	「続・寺子屋吉岡」で利根川水運と木下河岸の歴史的価値を学ぶことにより、郷土への関心を高め、印西市の<u>水辺の街</u>としての魅力をより深く理解ができ、住んでみたいまちとしての印西市の魅力向上に寄与します。 新しい市民と長く住む市民との交流や世代を超えた交流の場も増え、住んでいる街への誇りと愛着がより深まります。さらに<u>中心市街地</u>のにぎわいを少しでも取り戻すため、町おこしの一助にも繋げていけるよう企画提案して行きたいと考えます。

(提案書 様式②)

協働事業計画書			
事業名	印西市木下地区歴史講座		
事業の目的	木下地区や周辺地域に残る町家や文化財の価値を学ぶことにより、地域の人たちとともにその理解を深め、愛着をもって印西市に住む市民へのふるさと意識をより高める。		
事業期間	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日		
事業の内容 詳細に役割分担別に記入 (役割分担を、できれば事前に市の担当に相談して 記すか、希望を記す)	提案者	市	
	○講座開催 (4 か月×2 回、各回 10 名計 20 名) ○特別講座開催 (夏期講座：市内外の郷土の歴史に関心ある方を対象講演 60 名、冬期講座：木下茶船の川の道を辿る (市バス利用) 40 名 合計 100 名 <u>○講座修了者は、講座で学んだ中からテーマを選び小論文や写真等で資料としてまとめる。</u> <u>○希望者は展示物の作成に参加</u>	○講座開催の支援 <u>○講座講師の派遣</u> <u>○参加者募集の広報支援</u> ○特別講座開催 (夏期講座、冬期講座) の支援 ○調査・研究の指導 ○展示会の資料提供	
事業に要する経費 ※詳細については、様式③による	¥66, 000	¥361, 360	
対話方法 市との協議や打ち合わせ方法	月度活動報告、随時情報交換		
協働事業の効果 (各立場にとっての効果を簡潔に)	提案者	市民	市
	事業活動を推進しつつ活動の参加を促進し、市民活動として組織の強化が図れる	印西の歴史の学習を機会に住みよい街としてのふるさと意識の向上が期待される	木下に関心を持った市民だけでなく、市外から訪れる人々への受け皿ともなり市のイメージの向上になる
広報の方法	市広報紙、地域紙、塾の広報紙・チラシ・ポスター・ホームページ		
評価の方法	参加者へのアンケートによる		
備考	生涯学習課、観光協会、商工会		
	その他 水の郷ネットワーク、木下夢探訪、印西ふるさと案内人協会		
添付書類	パンフレット「寺子屋吉岡」		

(提案書 様式③)

企画提案型協働事業経費内訳書

事業に係る見積り積算金額 金 361,360 円

無償分を含めた金額 (金 1,285,360 円)

【歳入】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
市に負担を求める額	人件費、報償費、印刷製本費、通信運搬費	361,360
提案者負担分	工事費、会場費	66,000
参加者負担分	資料代 (500 円×120=60,000 円)	60,000
無償労働力等換算金額	労働力 798,000 円	(798,000)
合 計 (無償分を含めない)		487,360
無償分を含めた合計額		(1,285,360)

【歳出】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
人件費*	講座運営 4 時間×800 円×8 日×2 人=51,200 円 夏期特別講座 4 時間×800 円×6 人=19,200 円 冬期特別講座 6 時間×800 円×6 人=28,800 円	99,200
報償費*	講師謝礼 (二人分) 10,000 円×4 回=40,000 円 特別講座 (二人分) 10,000 円×2 回=20,000 円	60,000
工事費	展示物作成費用 (吉岡蔵) 50,000 円	50,000
印刷製本費*	告知ツール印刷費*A4 ペラ・パンフレット 1,000 部 (30 か所×30 部+予備 100 部) ×4 回×30 円=120,000+9,600 円 *A3 ポスター100 部 (市内公共施設 30 か所+他 40 か所+予備 30 部) ×4 回×130 円=52,000+4,160 円	185,760
資料作成費	資料 120 部×500=60,000 円 (実費参加者負担)	60,000
通信・運搬費*	告知用郵送料@82×100×2=16,400 円	16,400
会場費 (電気代)	会場費 ¥2,000×8 月 =16,000 円	16,000
提案者が負担する無償労働力	798 円×4 時間×5 人×50 日=798,000 円	(798,000)
合 計 (無償分を含めない)		487,360
無償分を含めた合計額		(1,285,360)

*印は市に負担を求める項目